

第3章 河川整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施工の場所並びに

当該河川工事により設置される河川管理施設の機能と概要

河川整備計画の目標を実現させるための具体的な方策として、計画的な河川整備を実施する。

・河川工事の施工箇所

対象河川：釧路川

施工場所：幣舞橋から旧雪裡川合流点までの延長 5.4km 区間

・河川工事の目的

優先整備区間については、近年頻発する洪水や高潮の実績を踏まえ、近年における最大雨量をもたらした昭和61年9月の降雨があった場合に発生すると予想される洪水に対応した河川改修を行う。

・河川工事の種類

河道の掘削、護岸の新設、堤防の新設、橋梁の改築

・釧路川ふるさとの川整備事業

釧路川下流域の幣舞橋～アセツリ川合流点の区間では平成10年度から河川とその周辺の一体的な整備を図るとともに、豊かな水辺空間の創出を目指して「ふるさとの川整備事業」の検討委員会が設立された。委員会では《北の大地「くしろ」自然と文化を未来につなぐ川づくり》を基本テーマに設定し、「災害」・「自然環境」・「社会環境」の3つの視点を河川空間づくりの方針と定めた「釧路川ふるさとの川整備計画」が策定され、平成13年4月に国から認定を受けるに至っている。

その後、平成13年からは推進懇談会が開催され、地域の人々の参加により河畔の施設・景観整備に対して意見が交わされている。

第2節 河川の維持の目的、種類及び施工の場所

1 河川の維持の目的

護岸、堤防等の河川管理施設について、この施設のもつ機能を極力損なわないよう維持工事や点検を実施する。河川の点検に関しては、出水後に河川の巡視を行い、主として目視による点検を実施する。点検の結果については、緊急度等によるランク付けを行い、その対策に要する費用、財政状況を総合的に勘案し、対策の内容、対策を実施すべき時期を決定するものとする。また、河川構造物の管理のため、必要な箇所においては適宜草刈りを実施するとともに、流水の阻害や河川構造物に悪影響を及ぼすものがある場合は、必要に応じて適宜その除去を実施するものとする。

2 河川の維持の種類

●河川管理施設の維持

河川管理施設については、定期的に点検を実施し、その機能を維持していく。

●流下能力の維持

河川の流下能力の維持のため、流水の流下に必要な断面を確保していくものとする。そのために、出水後や高潮が発生した後に河川巡視を実施し、大きく河積を阻害し、今後の出水により危険が想定される場合には、当該区間において現地調査を実施した上で、対策の内容、対策を実施すべき時期を決定する。土砂の撤去にあたっては、可能な範囲内において自然や環境への配慮を行うよう努めるものとする。

●伐採、草刈による維持

流水の阻害や河川構造物に悪影響を与える樹木等については、生態系に十分配慮のうえ、必要に応じて適宜その伐採を実施するものとする。樹木の伐採方法は、河川環境や生育による治水的影響を考慮して定めるものとする。

また、堤防の法面などにおいては、堤防の強度維持及び点検のために、草刈を行うものとする。散策の際の休息場所などオープンスペースとして、広く利用されているところは利用性や景観に配慮しながら草刈するように努める。

第4章 河川情報の提供、流域や関係機関に関する事項

第1節 河川に係わる調査・研究などの推進に関する事項

雨量・水位の水文観測、水質調査及び河川周辺の生態調査等の調査・研究を関係機関の協力を得ながら実施していくものとする。

第2節 河川情報の提供に関する事項

河川に関する情報を流域住民に幅広く提供し、共有することにより、河川愛護意識の啓発、環境教育の支援や川を軸とした地域づくりの活動との連携・支援を推進する。また、専用の通信網を用いた河川情報システムの整備を進め、的確な水防活動の支援が出来る様、河川情報の提供を行う。

第3節 地域や関係機関との連携等に関する事項

・ 河川愛護思想等の普及、啓発

幣舞橋周辺では平成 11 年度から啓発活動の一環として「釧路川 絵画コンクール・写生会」が行われ、多くの小学生が参加している。

今後とも河川愛護月間等における河川美化活動等の各種イベントを通じて、河川愛護、美化思想の普及、啓発に努める。また、河川に関する広報活動を強化し、流域住民との治水、利水、環境に関する情報の共有を図るものとする。



ごみ拾い
写真 4-1



写生会



・ 住民等との協働

現在、釧路川では地域の意見を反映した河川整備を具体化させるために「釧路川ふるさとの川推進懇談会」が開催されている。ここでは、河川整備に地域住民の意見が反映されるよう、ふるさとの川整備計画を基にして、導入施設・配置の検討、地域住民による河川の活用方策や維持管理について活発な議論が行われているところである。

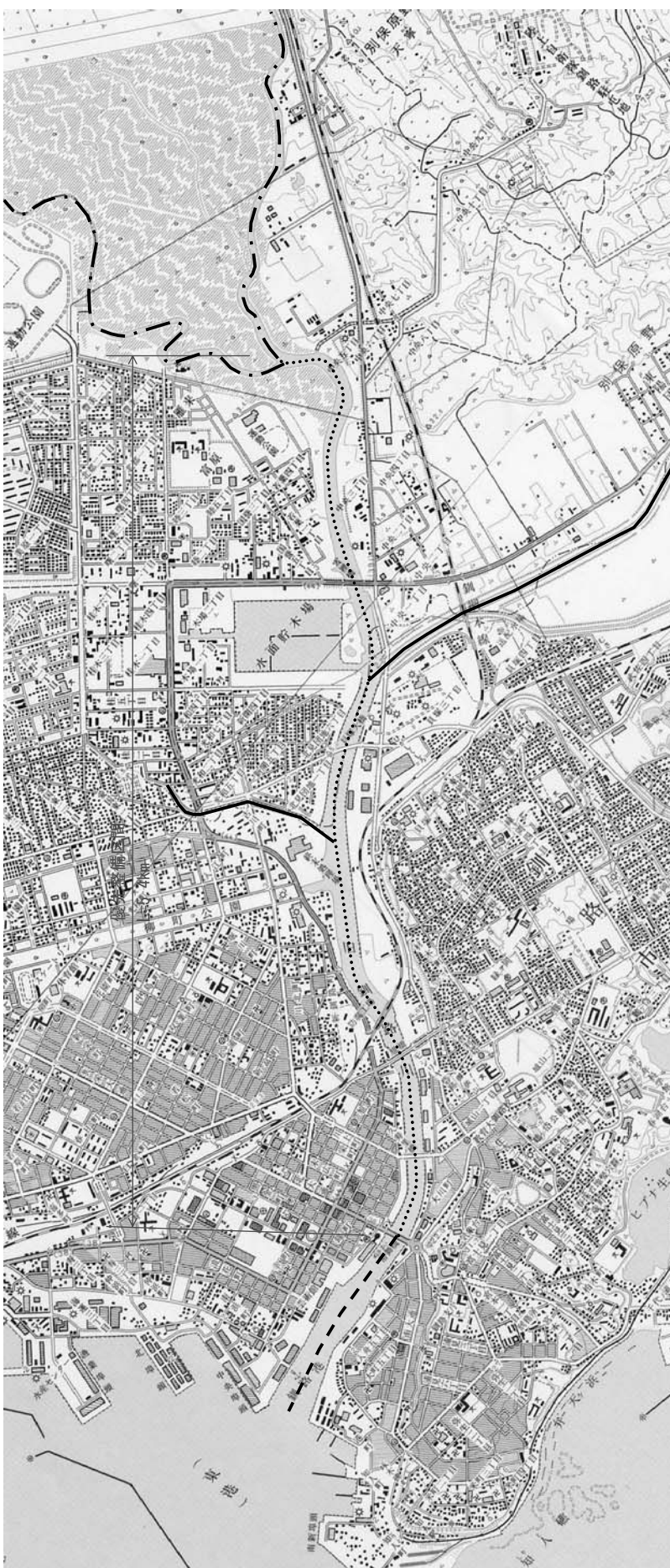
今後とも地域の特性やニーズを反映させた河川整備の実現のため、地域住民の意見を聴取する機会を創出し、関係機関との連携を強化するものとする。



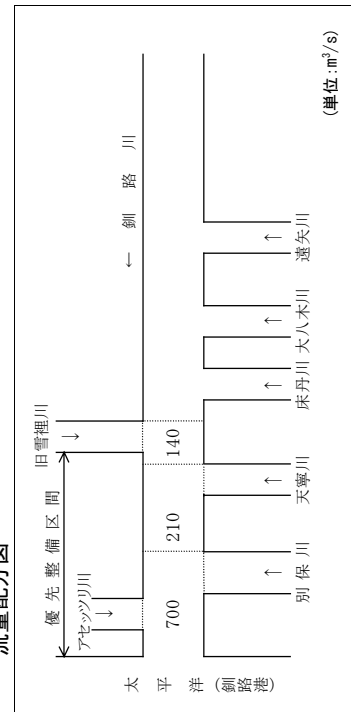
写真 4-2 釧路川ふるさとの川推進懇談会

釧路川下流域河川整備計画 附図

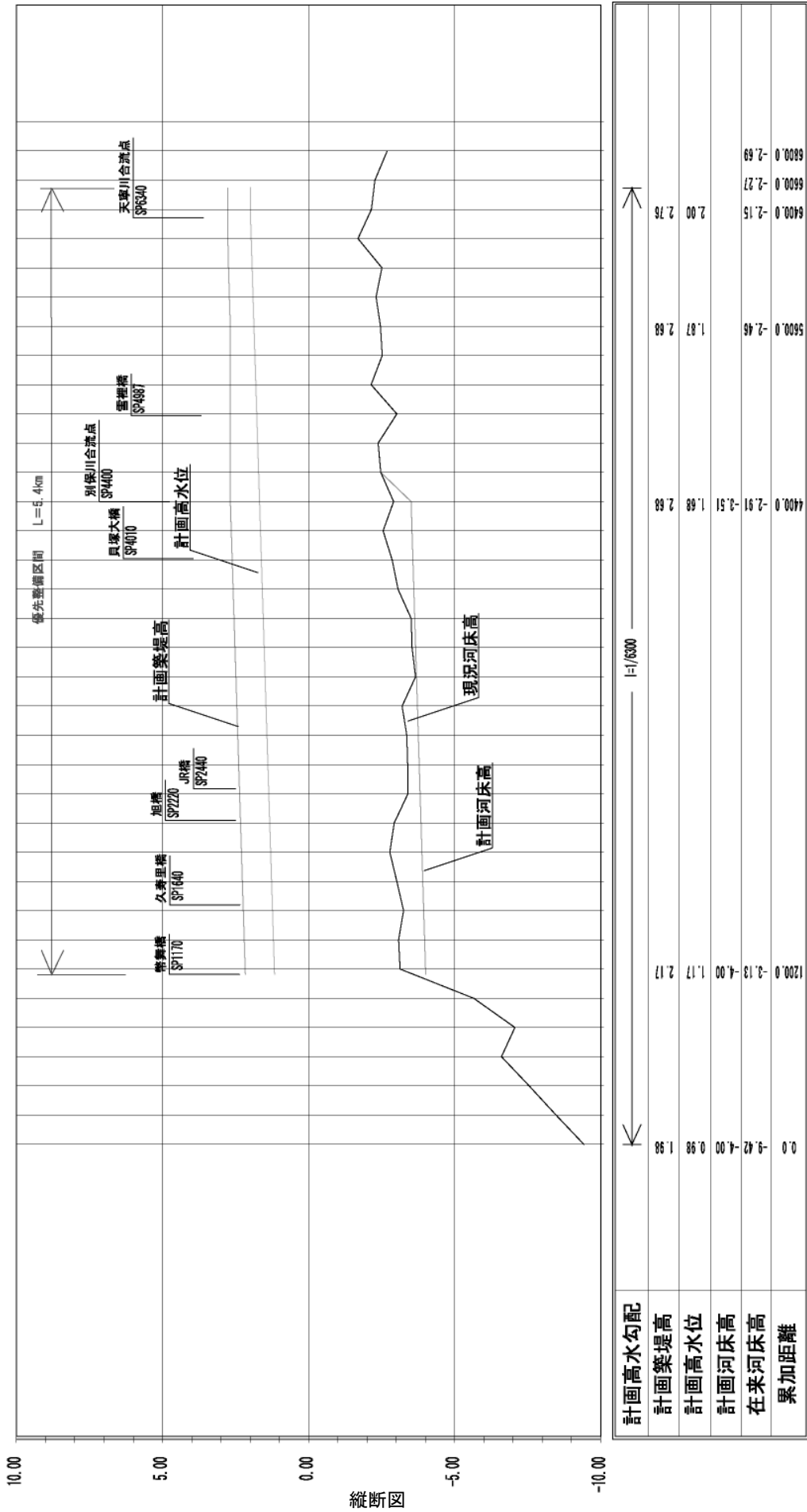
平面図 S=1:25000



流量配分図



凡例	
——	: 改修区間
.....	: 優先整備区間
- - - -	: 他事業で整備を行う区間
— · —	: 整備予定が無い区間



計画高水勾配	0.0	1200.0	4400.0	5600.0	6400.0	6600.0	6800.0
計画築堤高	-4.42	-3.13	-2.91	-2.46	-2.15	-2.27	-2.69
計画高水位	0.98	1.17	1.68	1.87	2.00	2.76	
計画河床高	-4.00	-4.00	-2.51	-2.68	-2.68		
在来河床高	1.98	2.17					
累加距離							

縦断面図

